

加地良光新市長が就任しました！



4月23日(日)の小郡市長選挙で初当選を果たした、加地良光新市長が、5月15日(月)、市役所に初登庁しました。

新市長プロフィール

かじ りょうこう

加地 良光

昭和39年11月13日生まれ

昭和58年 3月	東京都立上野高等学校	卒業
昭和63年 3月	埼玉大学経済学部	卒業
昭和63年 4月	株式会社N B C長崎放送	入社
平成10年 9月	株式会社N B C長崎放送	退社
平成10年10月	株式会社T V Q九州放送	入社
平成28年12月	株式会社T V Q九州放送	退社
平成29年 5月	小郡市長就任(1期目)	

市民のみなさんへ

～ワクワクする小郡市へ、つながりましょう～

就任のあいさつ

一羽のきれいなチョウが北京で羽ばたくと、それを見ていたチョウが続いて羽ばたいて、二羽が四羽、四羽が八羽となり、ついには、地球の反対側のニューヨークでハリケーンを起こす「北京のチョウ」理論という話があります。

この話は、小さな動きが、気がつかないところで、大きな動きに変わるといった話です。

小郡のまちの様子を見えますと、鉄道沿線には、新しい住宅開発が進んでいます。ベッドタウンとして発展してきたまちの、さらなる可能性を感じることができます。

しかし、よく見てみると、その周辺の早くから開発され

ている住宅地の中には、ポツリ、ポツリと、空き家が増えていることがわかります。

そんな中、小郡市の人口「減少」という数字を突きつけられると、ベッドタウンとしての小郡市を取り巻く環境が、大きく変化していることに、私たちは、気づかされます。

日本の人口は、2015年の1億2000万人が、2065年には、8800万人に減少することが予測されています。

人口減少は、地方都市から始まっていることを考えれば、九州でも大きな人口減少の荒波が、私たちの生活に深く影響を及ぼすことを想定しておかなければなりません。

すでに、自治体間の静かな住民争奪戦は始まっています。

税金や水道料金など生活をする上での費用、子育て支援、移住への支援と厳しい自治体選択が行われています。

こうしたまちを取り巻く変化について、小郡市の向かうべき方向性について、ここで立ち止まり、新たに考え直さないといけないと、市民の皆さんが「皮膚感覚」で感じ取った危機感が、新市長を生み出したと考えています。

私は、各地の集会にご参加いただいた市民の皆さんとともに、小郡のまちがどのような政策をとるべきかという対話を重ねて参りました。

その結果が、「つながろう！変えよう！小郡く市民がワクワクする小郡市へ」と題した100項目を超える政策宣言となりました。

テーマは「つながるまち小郡」として、多様な市民がつながり、新たな地域力を生み出す、地の利を前面に九州各地とつながり、新たな活力を生み出す、小郡市のこれまで発揮されなかった隠れた可能性を引き出すことを考えています。(↓次ページへ)



◀集まった市民を前に初登庁のあいさつをする市長



これから、その政策宣言を、
まだお会いする機会が持てな
かった市民の皆さんとの対話
や、市役所職員との対話、市
議会の皆さんによる研さんを
経て、小郡市の将来の道しる
べに仕上げて、小郡市が変わ
ることをめざしていきます。

ひとつの体制が長く続くと、
どうしても、これまでの習慣
や思い込みによって、このよ
うなものだと、変わることを
避け、大きな時代の変化に、
取り残されてしまうことがよ

く起きます。

就任のあいさつで、市役所
職員に、新たなことを始める
勇気を持つと呼びかけまし
た。

市民起点で考えた取組は、
小さな動きであっても、いつ
の間にか、大きな市民の満足
につながると思います。

行政サービスについてのご
不満があれば、どうぞ私にお
知らせください。そして、小
さなカイゼンの兆しが認めら
れましたら、どうぞ職員にそ
の評価を与えてください。

子どもや孫たち、次の世代
に、素晴らしいふるさとを手
渡すために、市民の皆さんの
力が必要です。

ワクワクする小郡のまちを
一緒に作る運動にご参加くだ
さい！



つながるまち
小郡
平成29年
5月15日
小郡市長
加地良光

平安市長・高木副市長が 退任されました

平安正知前市長は、平成14
年に小郡市議会議員に当選さ
れました。その後、平成17年
の市長選挙で初当選され、第
6代の小郡市長に就任、3期
12年にわたり小郡市政を担わ
れました。

高木良郎副市長は、昭和51
年に小郡市役所に入庁され、
教育部長、総務部長などを歴
任されました。平成23年4月
に副市長に就任され、小郡市
政の発展に貢献されました。

5月12日に行われた退任式
では、それぞれ退任のあいさ
つを述べられた後、清武教育
長からお礼の言葉が贈られ、
庁舎を後にされました。

お二人の今後のご活躍をお
祈りいたします。